

市独自の行政改革を推進

6月定例市議会

財政健全化へ 機構改革など検討

六月定例市議会は六月二十一日開会、二十九日までの九日間の日程で開かれ、六十年一度一般会計補正予算一億七千四百九十九万円(累計百十九億三千四百九十九万円)、南国市基本構想の策定など十五議案と報告十一件をいづれも可決、承認しました。

市政報告(要旨)

小笠原市長は提案理由の説明に先立ち、次のように市政報告をしました。

(行財政)

昭和五十九年度の出納閉鎖の結果、一般会計は二億五千三百五十六万円の赤字となっており、うち財政調整基金として一億四千四百七十万円を積み立て、翌年度繰越金は一億九千九百九十九万円となります。今後の一般会計の財政運営は、人件費の増加、開発公社への支払いなど、なお一層の引き締めが必要と見られます。

財政健全化のためには、行財政改革は不可欠であり、国の厳しい制約を受け止めながらも、本市の自主性を失わず実行可能な行政改革を進めなければなりません。

行財政事務改善委員会では、退職者の不補充、臨時職員全廃の方針を決め、そのための機構改革や職員の適正配置などの検討を進めています。支所廃止については、依然根強い反対があるが、現状か

らみて存続は疑問があり、廃止に向けてさらに努力していきたい。また、行政改革推進本部は現在の事務改善委員会を改組し、早い機会に発足させる考えです。

(総合計画)

昨年末、振興計画審議会より答申をいただき、それに基づき修正を加え今議会に提案しました。答申の主旨を十分尊重し、目標達成に努力する所存です。

(比江山問題)

比江山の開発申請は、当初は市有地五・二の計画でしたが、将来を展望した開発計画を、県の指導もあり、周囲を含め五・六の計画に修正することになりました。今期計画として、市有地五・二を含めた八・七の開発許可を得たものです。

しかし、造成には多額の経費が必要となり、財政再建はおろか負債の恐れも出て来たので、計画を縮小して県と折衝しており、ほぼめどがついたところであります。今後は審議会の意見を聞き最終の着詰めを行い、早期に処分する考えです。

(空港問題)

空港周辺整備事業は、二億円の予算で本年度も引き続き実施する予定で、主に農道、水路の整備です。騒音測定は、三月に県の結果が発表され、基準値より上回ったところはありませんでした。五月には運輸省の再調査も行われ、その結果は三、四カ月かかるようです。

(同和対策)

五十九年から繰り越されている事業を重点的に実施しており、九月ごろまでに発注し、消化するよう努めています。六十年事業もこれと並行して実施しており、年度内消化を目指しさらに努力していきます。

(し尿処理場)

慎重な検討を重ね、廃棄物処理委員会の審議の結果、最善の方法として、香長し尿処理組合への加入を決定しました。組合長である野市町長にその意向を伝え、関係住民の理解と同意を得て加入できるよう努力をいただいています。

(教育施設)

大篠小、十市小の屋内体育館増設事業は、年度内完成を目指し地質調査も完了し、ただ今設計に取りかかっています。騒音防止対策としての大篠小、大篠小の校舎改築工事は、八月の竣工を目指しすでに工事の発注を行いました。

可決、採択された意見書、決議と請願

議員から提出された「高齢者の雇用対策の充実と失業対策事業の就労年齢制限反対」など二意見書と「南国市西南開発推進対策特別委員会設置」「南国市立文化会館(市民会館)建設促進特別委員会設置」の決議が可決されました。

支所廃止は強行せず

話し合いを継続

一般質問

六月定例市議会での一般質問は、二十四日(土)から二十六日(月)の三日間、高島、竹内、井上、山崎、浜田、徳永、今井、森尾、岡林、堀川、中屋の各議員が市長の政治姿勢や行財政、教育などの問題について、執行部の考えをたずねました。執行部の主な答弁は次の通りです。

【比江山の残地処分については、三千二百万円かけて工業用団地の計画概要を作ったが、道路や調整池、緑地を設置するなど諸法令を完全に満たすようにすると費用がかかり、売れる土地も少なくなるので財政再建にあまり役立たない。そこで、例えば隣接する広域農道を市道として一般に使えるようにして、工場建設ができるようにするの、一つの手段だ。県に折衝して大体のめどがついてきた。

金利を含め十三億円の土地代金が全部完済できると思わない。甘い見方かもしれないが、八十九億円の償却できるのではないかと考えている。

【行政改革委員会の設置については現在、人選や人数そして、民間有識者だけの独立した委員会にするかどうかなど検討している。九月議会で新しい委員会のメンバー、内容を報告したい。

【機構改革は、現在の市長部局の十課一課四十三係を最終的に一室十一課一課四十係にする案で検討している。企画財政課を企画開発室と財政課に分け、二課一室にまとめる老人保健課をまとめ、新たに保健課を設置する。人員については、各職場の事務量を調査しており、適正な配置を考えている。

【支所は行財政事務改善委員会で廃止の意向に固まっている。市合併時の約束は尊重しなければならぬが、当時と比べると交通、通信手段も発達し、また現在の建物では重要書類の保管にも問題がある。

支所廃止の説明会では、地区によっては弾力的な受け止め方をしているが、廃止後どう対処するかという点で準備が足らず、説得力が弱かったと反省している。廃止で本当に困る人がどれくら

いいるか調査している。廃止は強行せず、なお、話し合いを続ける。

支所廃止に伴い、米庁舎の混雑を緩和するための本庁駐車場の拡張は、地主と話がついたので九月議会で予算を計上し整備したい。拡張面積は約七百平方メートル、車四十台は置ける。

【し尿処理場問題については適日正式に香長し尿処理組合に加入の申し入れをした。組合長である野市町長は積極的に考えてくれて、地元の深淵地区がすんなり受け入れてくれるかどうかだ。今は野市町長に全幅の信頼を託してお任せしており、こちらが地元を刺激するようなことは慎まなければならない。

【海岸地域の防潮堤内側の擁壁ごみ問題は、六月二十八日に建設省、南国土木事務所、美化対策協議会、市が集まって協議をする。現状を調査し、処理計画を立てる必要がある。一年では無理で三年くらいの計画で、浜改田の海岸から順次取り除きたい。住民の積極的な協力を願いたい。

【八京の養鶏場造成については防災面で問題があり、業者に対し六月十四日に文書で工事の中止、のり面保護などを申し渡した。

可決された主な議案

【昭和六十年南国市一般会計補正予算】一億七千四百四十九万円
歳出で主なものをあげると▼
税務課の土地家屋に関する電算機処理関係費二千二百五十万円
▼久礼田体育館建築工事費一億一千五百四十三万円
▼三和小学校運動場夜間照明設置工事費五百四十四万円
▼稲生小学校運動場夜間照明復元及び増設工事費二百五十万円
▼議員報酬の改定に伴う所要額一千九十七万円など。

【南国市特別職の職員で非常勤の者の報酬及び費用弁償支給条例の一部を改正する条例】
五十六年四月に引き上げて以来、据え置いていた議員報酬をアップするもので、議長月額二十八万円(現百二十五万円)、副議

たようだが更に一歩進めて、八時半には全員がすぐに仕事を始められる態勢に向けて努力する。また、胸章の着用については全職員に徹底を図りたい。

【小集落地区改良事業の進捗よく状況は、九月をめどに野中地区が四〇〇戸、前浜地区が六〇戸消化できる見通しだ。

【市役所一階ロビーに市民が利用できる自動血圧測定器の設置は、早ければ六十年事業としてやりたいと考えている。

【文化会館の建設は、今は学校教育施設の充実を図っているところなので、なるべく学校の講堂、体育館を活用し会合や芸術活動をやつてもらい、幸抱願いたい。

【南国市基本構想について】七十年を目標年とした市総合計画に基づくもので、市振興計画審議会の答申を得て、「ひとびとに緑と太陽と空をもちたすま、勤労と生活のよろこびを与える都市」を基本理念に市の理想とする都市像を定め、これから取り組むべき基本的な考えを示したものである。

